

## 90分のスクールバス通学を 自由な読書の時間に

東京都立八王子東特別支援学校  
羽鳥 洋美



### ハード面の充実だけでなく、 読書機会の拡大に取り組む

東京都立八王子東特別支援学校は、2011年度（平成23年度）から2013年度（平成25年度）までの予定で、東京都の言語能力向上推進校としての指定を受けました。これをきっかけに、本校では、図書館を学校の中心に移設し、書棚や展示の方法の工夫、DVDやCD類の充実など、全校を挙げて読書活動の充実に取り組んできました。

こうした取り組みにより、ハード面での充実が進んだ一方で、肢体不自由のある児童・生徒が読書する機会を真にどれくらい拡大できているのかという課題が残されていました。

まず一つめの課題は、「いつ読むのか？」という生活時間についてです。

そして、二つめの課題は、自分で読

むことが難しい子どもたち（ページをめくることができない、直接本に手を出せない、視覚に困難があるなど）がどのように読むのか？ という支援方法についてです。

これら二つの課題を解決する方策として、往復90分以上にもなるスクールバスでの登下校の時間に注目しました。そして、自分で読むことが難しい子どもたちでも扱えるマルチメディアDAISY図書を活用した「聞く読書」の取り組みを目指すことにしました。

### 「聞く読書」を通して、 読書が好きな子どもを増やしたい

子どもたちが、往復のスクールバスでの通学時間を使い、iPodでの読書を楽しむことで、読書時間・読書機会の増加をもたらし、読書により内面が

豊かに育まれることが期待されます。

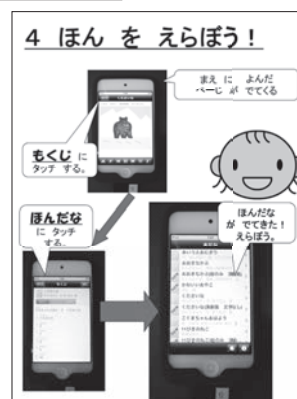
また、自ら本を持ってページをめくることが困難、あるいは文字を読むことが困難といった理由により、読書から遠ざかっていた子どもたちが「聞く読書」を通して読書好きになることも期待されるところです。

そして、2012年（平成24年）4月、この研究の趣旨にご賛同いただいた伊藤忠記念財団から、36冊のDAISY図書が収録されているiPod10台、iPad1台の貸与を受けることができました。これらの管理は、情報教育部図書担当2名、および言語能力向上推進プロジェクト4名の計6名がおこない、初期設定、アンケートの回収、周辺物品の管理、ナンバリングなどの準備に、いっせいに取っかかりました。

## iPod操作マニュアルの作成

子どもたちが教員や家族と、あるいは自分自身でマニュアルを読むことを想定し、「iPod操作マニュアル」を作成しました。

マニュアルでは、基本動作のほか、フォントや、絵の大きさの変え方、読みの速度や間の変え方など、マルチメディアDAISY図書ならではの取り扱い方法についても説明するようにしました。さらに、感想の録音の仕方、感想文の入力の仕方などについても掲載しました。



この「iPod操作マニュアル」の詳細は58ページ以降に掲載。

## iPod説明会の実施

作成したマニュアルを使用して、iPodの児童・生徒（教員）対象の説明会を、5月後半におこないました。参加者は、小学部から高等部までの児童・生徒で、20名を超えました。

iPod、iPadは、職員室の鍵のかかるロッカーに、マニュアル、イヤホン、スピーカーを一式に整え、貸し出しができるように用意しています。なお、貸し出しに際しては、貸し出し簿を作成し、基本的には1週間をめどに返却するようにしています。



「iPad操作マニュアル」を見ながら、操作に挑戦



貸出しセット一式

## いよいよ貸出し開始！

2012年5月31日から貸出しを開始し、2012年12月現在、小学部児童40名、中学部生徒18名、高等部生徒19名の、のべ77名の児童・生徒に貸し出ししています。このうち、26名が家庭に持ち帰り、スクールバスの中での「聞く読書」をおこなっています。

それでは、本校の子どもたちは、どんな図書を、どこで、だれと、どのように読んでいるのでしょうか。

以下、3つの事例を紹介します。

### ①事例その1

高等部のA君は、教室で、教員と読書をしています。複数の劇団員による『11ぴきのねこ』『おおきなかぶ』、あるいは電車の本を再生すると、表情も笑顔になったり、画面に注視する様子が見られました。

また、中学部では、授業と授業の合間に、複数の生徒にiPadで絵本を見せました。生徒たちは、集中した表情で画面を注視していました。

### ②事例その2

小学部4年のB君は、上肢の操作性に困難を抱えていますが、お話好きで笑顔の素晴らしい少年です。彼は、校内でもっともiPadを愛用しており、リクエストした本を、バスの中で聞いて帰るのが日課となっています。

B君は、片道20分のスクールバスに乗車する前、担任に「アイポッド！」と設定を依頼します。教員は何を読みたいのかを確認し、iPadの設定をします。

B君は、「いままでは、スクールバスの中では何もしていなかった。でもいまは、iPadで読書をしているので楽しく過ごせている。家で妹やお母さんと、iPadで読書することもある」とiPadによる読書について感想を語っています。



「走る書齋」で聞く読書

B君の愛読書は、『あいうえおにぎり』、『おおきなかぶ』、『シップ船長といるかのイットちゃん』、そして、6時間ものの長編『シノダ！ 魔物の森のふしぎな夜』。

B君の担任は、「B君は、以前から本が好きで、図書館でもよく借っていました。今までは、自分で本のページをめくることが難しいので、本を読むときはお母さんに読んでもらっていましたが、iPodは、一人で本を読み進めることができるので、いままで以上にたくさんの読書を楽しめています」と、「聞く読書」について評価しています。

B君は、スクールバスの中のほか、送迎の車中、家庭で妹やお母さんといっしょに、通常の本と同様、iPodを楽しんでいます。このように、読書量が増加していくとともに、読書の幅も広がっているようです。

### ③事例その3

中学部のC君は、上肢の操作性と、読むことによる理解に困難を抱えています。iPadなら操作も可能ということで、バスの中での読書に挑戦しました。

彼は、次の日「バスに酔ってしまった」と言っていたので、「酔うなら聞くだけにしたら？」とアドバイスすると、後日その通りにし、「聞くだけなら酔わずに楽しめた」と報告してきました。

いずれの子どもたちも、上肢の操作性と、読むことによる理解に困難を抱えています。聞くことにより十分読書を楽しんでいる様子が見られます。

とくに、B君については、当初の目的であるスクールバスの中での「聞く読書」により、読書量が増加した好事例であると思います。

### 子どもたちの感想とアンケート結果から

貸し出しに際しては、iPodの機能を生かして、感想の録音（または入力）と、読書した後にアンケートを提出するように指導しました。感想の録音については、録音自体を楽しみ、実質的には感想文にはなっていないものが多く、「〇〇を読んだ。おもしろかった」といった文章が一番多く見られました。

アンケートでは、何をどこで誰と読んだか、文字の大きさやフォント、絵の大きさ、読みの速度など、機能面についても質問項目を設けました。

機能面については、たとえば、文字のフォントについての質問に「小さかったので、自分で大きくした」との回答もあり、スマートフォン世代の子どもたちが、iPodを自分の望むように使いこなしている様子が見て取れました。

しかしその反面、「音楽を入れてほしい」との希望も複数あり、「このiPodは読書のためのもの」という認識の薄さも見られました。

よく読まれている本は、『あいうえおにぎり』『しんかんせん』『11ぴきのねこ』『おおきなかぶ』『やさいだいすき』『やおやでおかいもの』『みけねこレストラン』『シノダ! 魔物の森のふしぎな夜』など多岐にわたっています。

今後入れてほしい本としては、「ネコをテーマにした本」「ビジュアル博物館」「かいけつゾロリシリーズ」「世界名作ファンタジー」「マンガ」と希望も多数出てきていることから、期待の高さも伺えます。その反面、中高生

の中には「読みたいものが入っていない」という理由から、借りようとならない生徒がいることもわかりました。

## 今後の課題

iPodによる「聞く読書」は、約5か月の間に貸し出し人数77名と、好スタートを切りました。上肢の操作性と、読むことによる理解に困難さを抱える子どもたち、また、長い通学時間ゆえに読書の時間を確保できない子どもたちにとって、大変使い勝手のよいものといえます。

しかし、特定子どもたちだけが繰り返し活用している実態もあり、浸透度はまだ高いとはいえません。

前述したとおり、中高生の読み物の収録が少なく、身体の障害から、本の重さを支えられない、ページがめくれないといった理由で、読書をあきらめざるを得ない中高生を支えきれていない現実もあります。

こういったことを今後の課題と考え、今後も伊藤忠記念財団と連携して研究を進め、活用の向上に努め、子どもたちの読書活動をより充実させていきたいと思えます。

## 参考資料

# アイポッドのつかいかた



H24年  
5月31日版

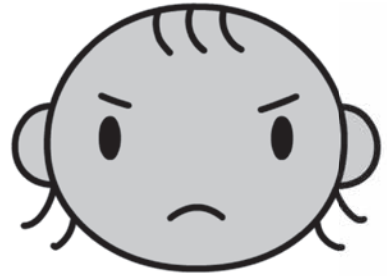
製作 東京都立八王子東特別支援学校

# おもな なまえ





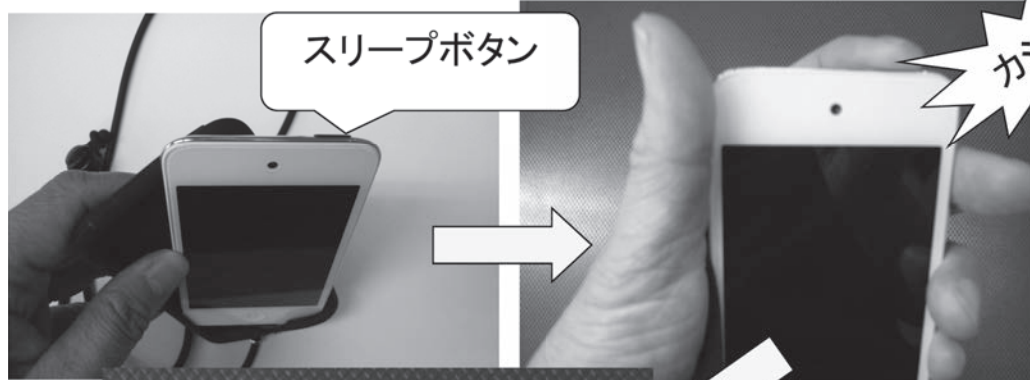
1 ちゅうい！！



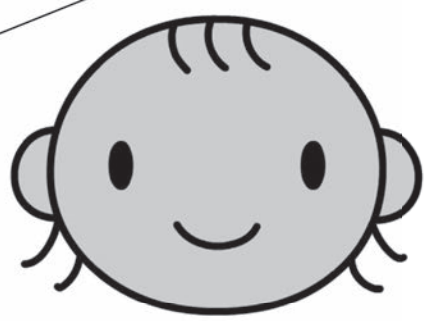
**ひも と カバー は  
とらないで！！**



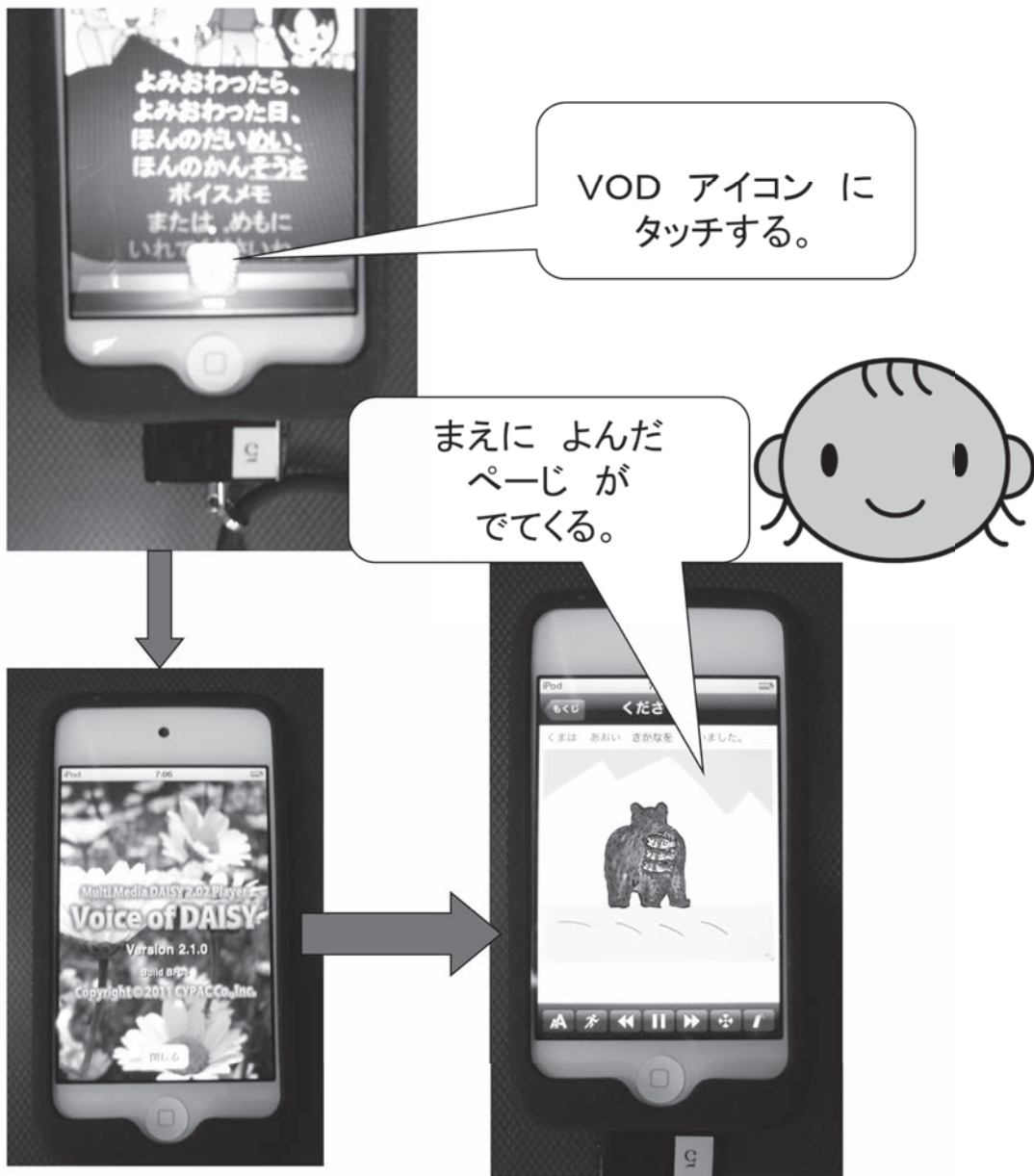
## 2 スリープ を かいじょ ⇒ロック かいじょ



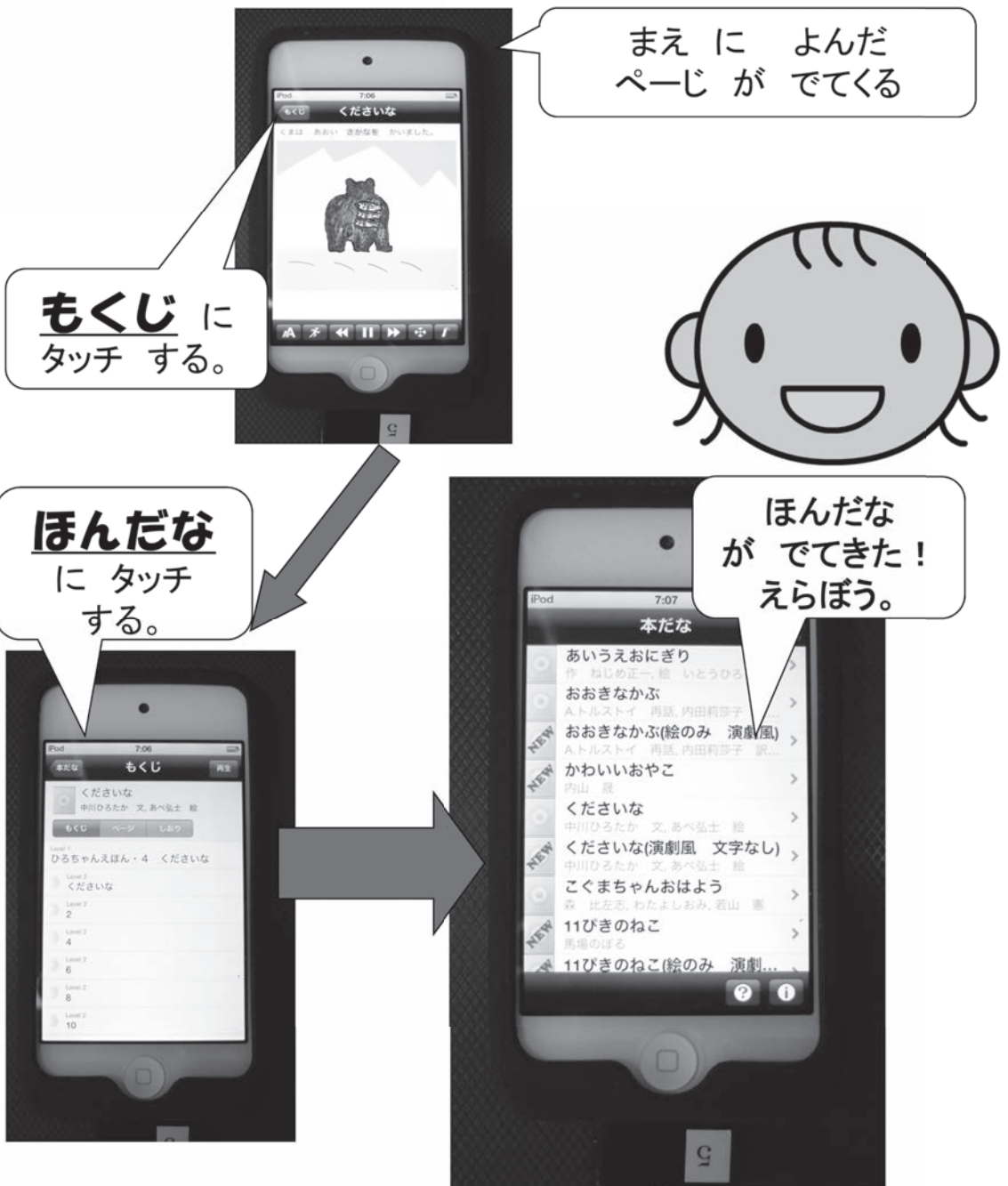
ここを  
ゆびで  
すーっと  
みぎ ほうこうへ。



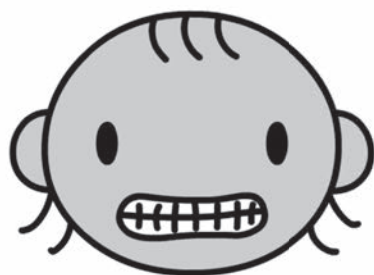
# 3 VOD (VOICE OF DAISY) アイコン



# 4 ほんを えらぼう！

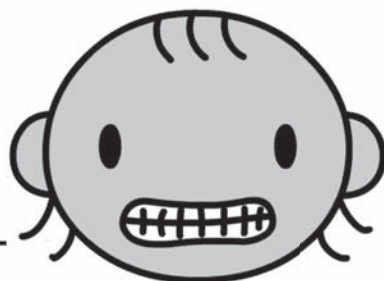


5 もっと ゆっくり  
よんで ほしい!



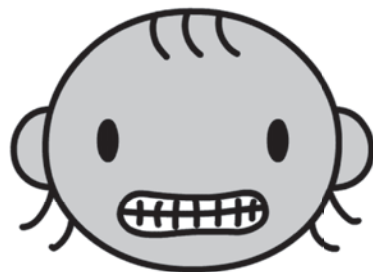
ここに  
タッチ!

6 もっとじを  
おおきくしてほしい!

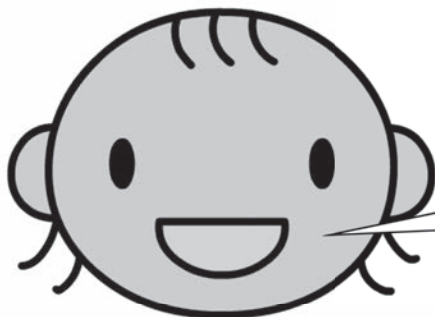


ここに  
タッチ!

# 7 もっと おと を おおきく してほしい!

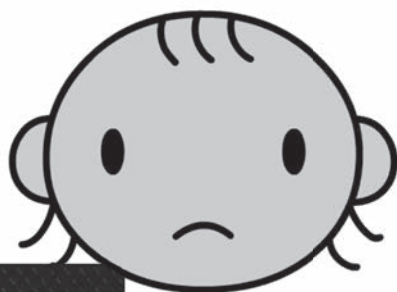


よこに むけてみたよ。  
これが **あんりょう ちょうせつ ぼたん**。  
うえ を おすと おとは おおきくなり  
した を おすと おとは ちいさくなるよ。



よく きこえるよう  
になったよ!

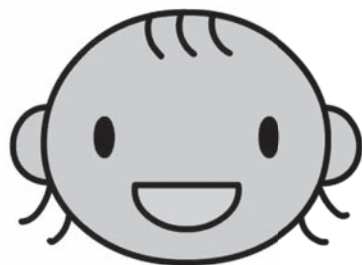
# 8 しおりを はさみたい！



ここに  
タッチ！



# 9 かんそうを ろくおんしたい!



マイク アイコンに  
タッチ!!



● あかまるに  
タッチして ろくおん  
かいし。  
ろくおんをおえたら  
■ にタッチ。



三をおす。



タイトル  
にゆうりよく



**カスタム**  
にタッチ。



ここに  
タッチ!



さいせいちゆう。  
ここをタッチして  
ろくおんしたもの  
にたいとるをいれよう!

# 10 かんそうを メモに いたい!

**メモ** の  
アイコンに  
タッチ。



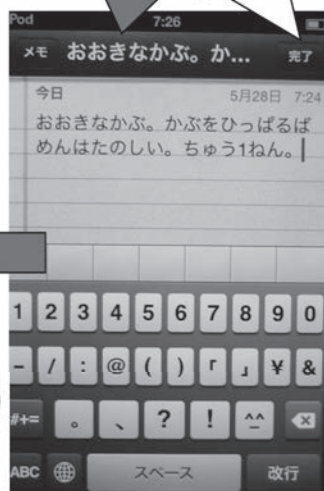
**+** に  
タッチ!



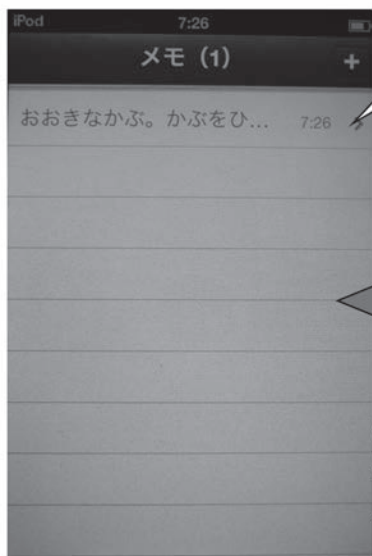
に ゆうりよく  
する



**完了**  
を タッチ!



メモが  
はいった!

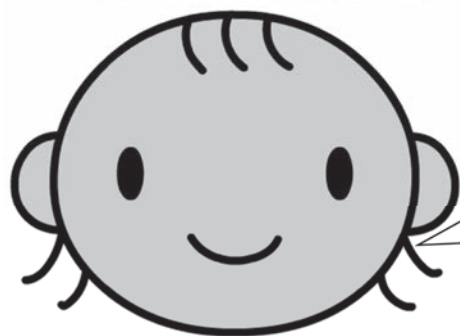


# 11 もとのじょうたい にもどしたい!



あれれ、  
どうしよう、  
もとにもどしたいな  
あ、  
など、  
こまったら、  
**ホームボタン**  
に  
タッチ！！

## 12 スリープにもどす



ちなみに、**スリープ** を  
ながく おしつづけると  
でんげん が きれるよ。